



スウェーデンが生んだ世界の車

VOLVO
1800ES

新らしいタイプの

VOLVO 1800E

ボルボ社が72モデルとして新たに発表したこの1800 ESは、従来のスポーツ クーペ1800Eをベースにして、ルーフを後ろに伸ばし、荷物室を広くとったデザインで、外観は今までのステーション ワゴンやエステート カーに似ていますが、実際は異なるジャンルに属する乗用車です。

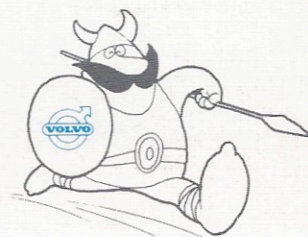
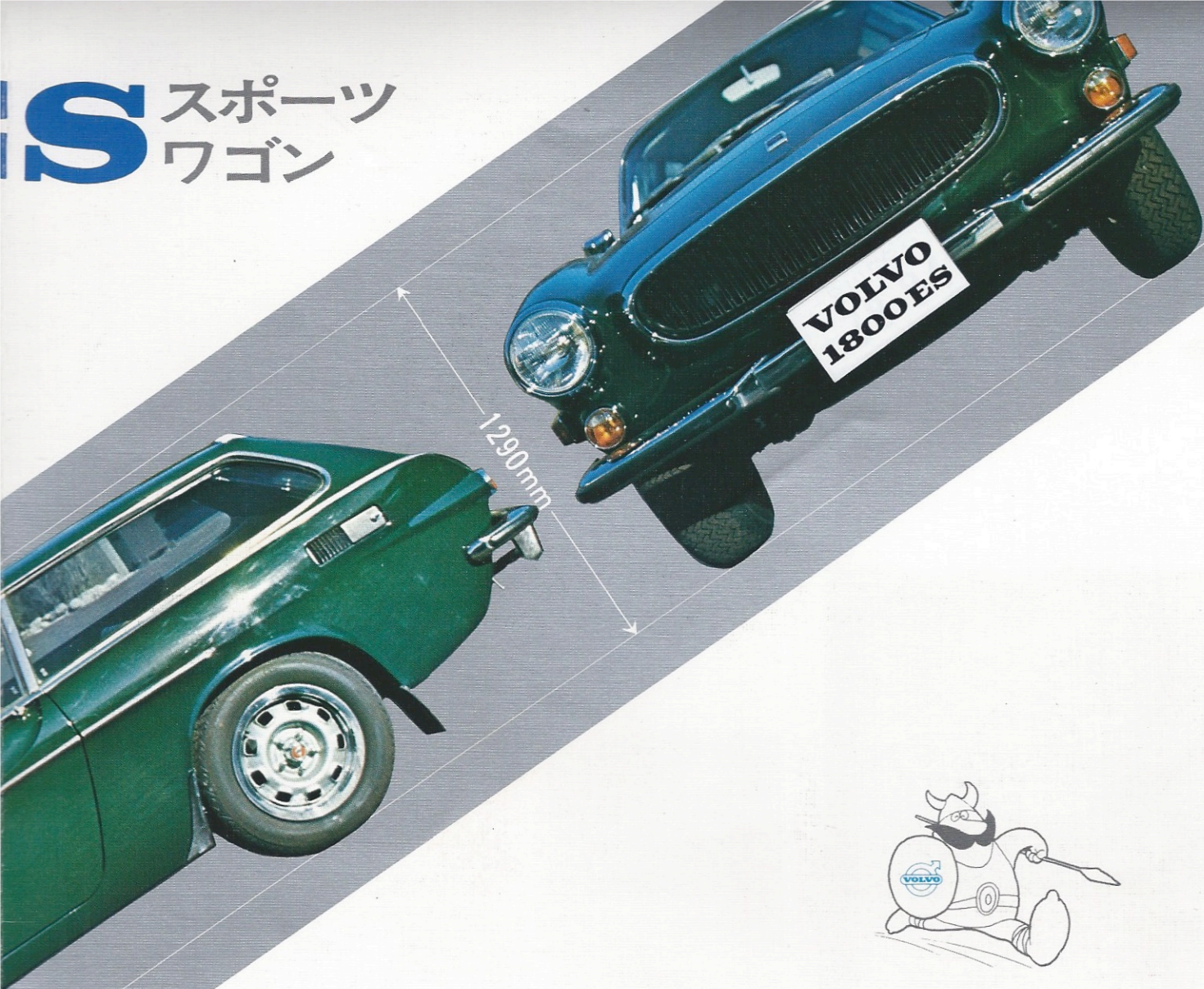
ステーション ワゴンといえば、日本では商業車又は貨客兼用車ということに考えられ、そのように使用

されておりますが、この1800ESはスポーツ クーペ1800Eのもつ高性能、乗り心地、豪華さを受け継いだもので、長距離旅行用、レジャー用、その他特殊の用途に使えるよう改造されたものです。

ステーション ワゴンは、欧米諸国では広く愛用されておりますが、日本では乗用車として見られていませんでした。しかしボルボ1800ESはこの観念を変えさせることになるでしょう。



S スポーツ ワゴン



カーゴ コンパートメント

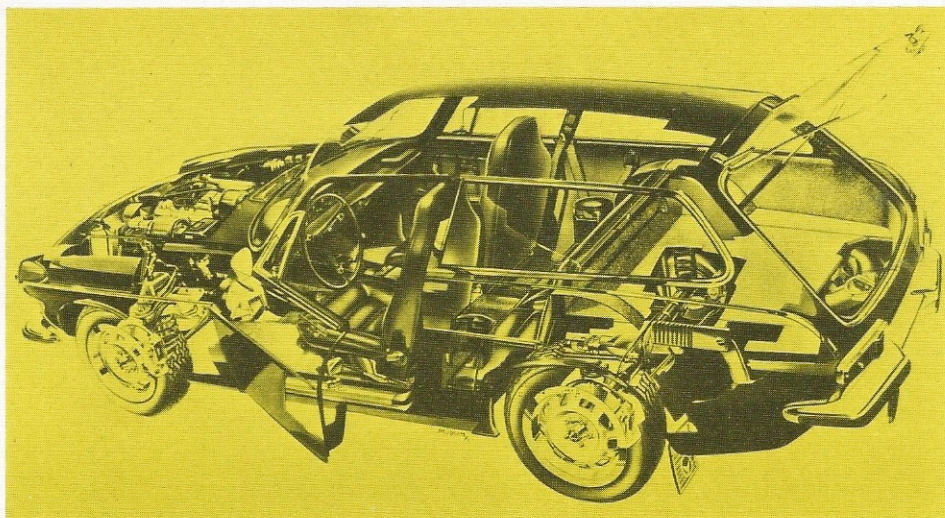
リヤウインドウはフレームレスの全面強化ガラスで、デフロスター電熱線入り。室内はユッタリとして、ジュエタン敷きの下にスペアホイールが隠されています。



ボルボ シート

伝統を誇るボルボのシートは、フルリクライニングの無段階クラッチにより後方衝撃から乗員を護ります。前後上下及び腰廻りの調整も自由。長距離ドライブに疲れさせないのが定評です。





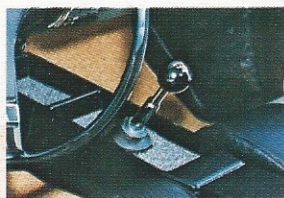
内部構造

スラントバックのもたらすゆったりしたリヤスペース、ワイドな展望を楽しめるテールゲートなど、1800 ES に特有な構造のほか、低床で流線型のボディにあらゆる機能が合理的に組み込まれています。



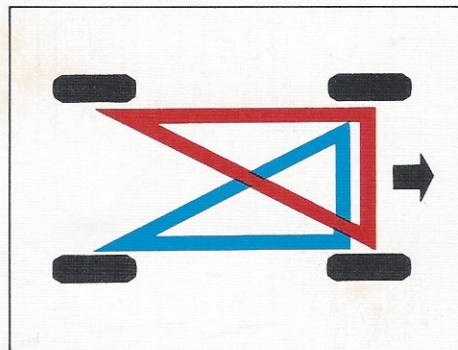
タイヤ

5.5 インチのワイドリムは充分な放熱孔を備え、クローム ホイール ナットで確保されます。巾広のハイスピード ラジアル タイヤ185/70HR15で秀れたロードホールディングを保ちます。



シフトレバー

シフトレバーは短くなり、操作もし易くなりました。迅速な加速、確実なエンジン ブレーキが得られます。



ブレーキ システム

トライアングル複式回路で、フロント2輪リヤ1輪のそれぞれに作動し、一方だけでも約80%の制動力を確保します。それにスキッド防止のレリーフ バルブも各回路に装備されています。



ダッシュボード

エレガントで見易いダッシュボード。明暗自在の計器盤、回転計、時計などは勿論、4方向緊急点滅表示灯、安全ベルトロック表示灯、ベルト装着警告灯、ブレーキ警告灯、リヤ デフロスター表示灯のほか方向指示器はヘッドライト デイップ及びフラッシング スイッチと一体構造です。

標準附属品：AM/FMラジオ、自動アンテナ。

《仕 様》ボルボ1800ESスポーツワゴン(型式18B20)

ホイールベース (mm)	2450	エンジン型式	B20 E 4 シリンダー L	ステアリング	カムローラ型
全 長 (mm)	4385	排気量 (cc)	1986 (水冷)	同 シャフト	コラブシブル
全 巾 (mm)	1690	ボアストローク (mm)	88.9×80.0	同 ギヤ比	15.5:1
全 高 (mm)	1290	最大出力 (SAE)	135bhp/6000rpm	クラッチ	ダイヤフラム
地上高 (mm)	140	最大トルク (SAE)	18kg/3500rpm	トランスミッション	4速オーバドライブ
回転半径 (mm)	4600	圧縮比	10.5:1	シフトレバー	フロア前後移動
車輻重量 (kg)	1285	燃料供給	電子コントロール噴射	最終減速比	4.30
登坂能力	27°	燃料タンク	プレミアム 45ℓ	ブレーキ系	ディスク サーボ
定 員 (名)	2	オルタネータ	12V 55A	タイヤ	185/70HR15

総販売元

株式会社 **ヤナセ**

東京都港区芝浦一丁目6-38
〒105 電話(03)452-4311(大代表)

総輸入元

株式会社
スカンジナビアン モーターズ

東京都港区芝浦一丁目6-38
〒105 電話 (03)452-4311(大代表)